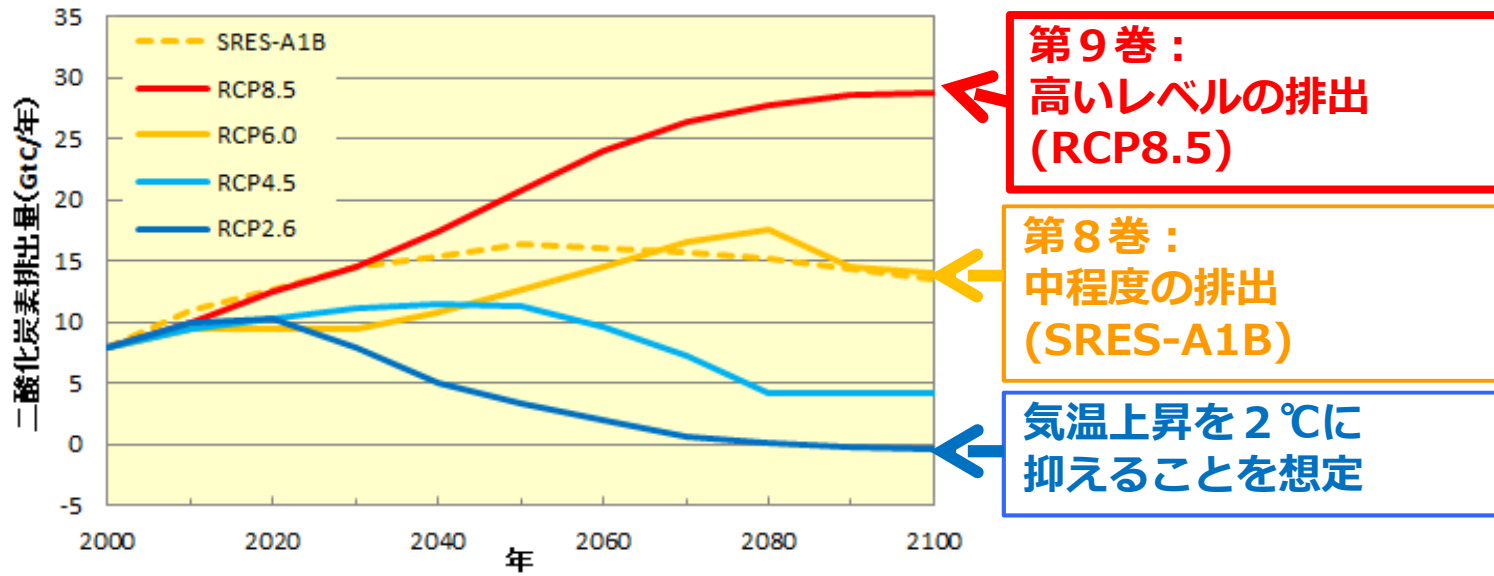


21世紀末の気候の予測について



第9巻：
高いレベルの排出
(RCP8.5)

第8巻：
中程度の排出
(SRES-A1B)

気温上昇を2℃に
抑えることを想定

本リーフレットの予測は、二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減対策が現状程度のみで今後ほとんど進まず、地球温暖化が最も進行する場合の想定に基づく21世紀末の香川県の気候予測です。

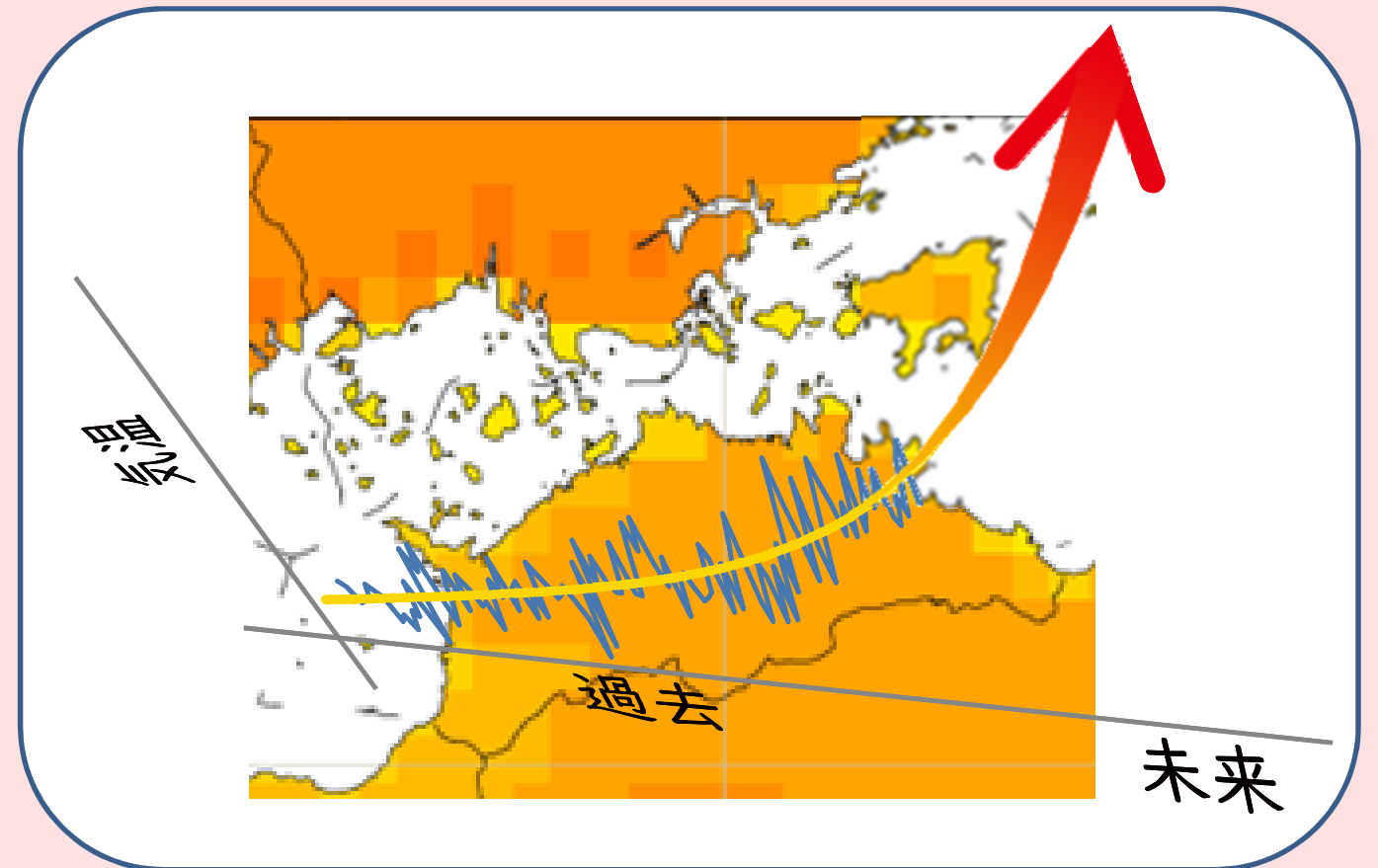
予測に際しては、国連の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」が2013年に公表した第5次評価報告書で採用した4つの温室効果ガス排出シナリオの中で最も排出量の多い「RCP8.5シナリオ」(図中の赤線)に基づいて、気候予測モデルを用いたコンピュータシミュレーションを実施しました。

将来気候・現在気候・平年値について

将来気候	気候予測モデルによる21世紀末(2076~2095年)における気候の予測結果です。
現在気候	気候予測モデルが再現した20世紀末(1980~1999年)の気候です。実際の観測に基づく値とは異なります。
平年値	1981~2010年までの平均値で、実際の観測に基づく値です。

香川県の21世紀末の気候

地球温暖化が最も進行する場合の
気温や降水の予測



香川県の気候変動に関する情報(香川県版)
https://www.jma-net.go.jp/takamatsu/12/kagawa_climate.html



地球温暖化予測情報第9巻(全国版)
<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/GWP/index.html>



高松地方気象台

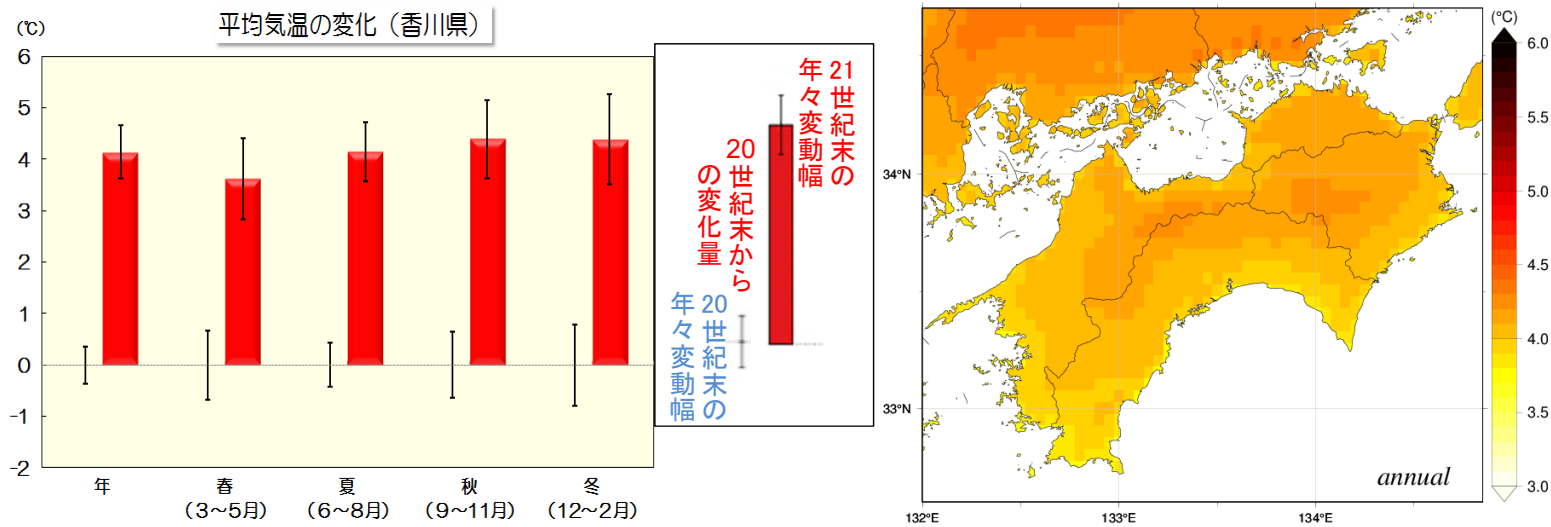
地球温暖化が最も進行する場合の

気温の予測

▷香川県では年平均気温が100年で約4℃上昇

※高松市ではすでに年平均気温が50年あたり1.7℃上昇しています(統計期間:1942~2017年)

年平均気温上昇量の分布図

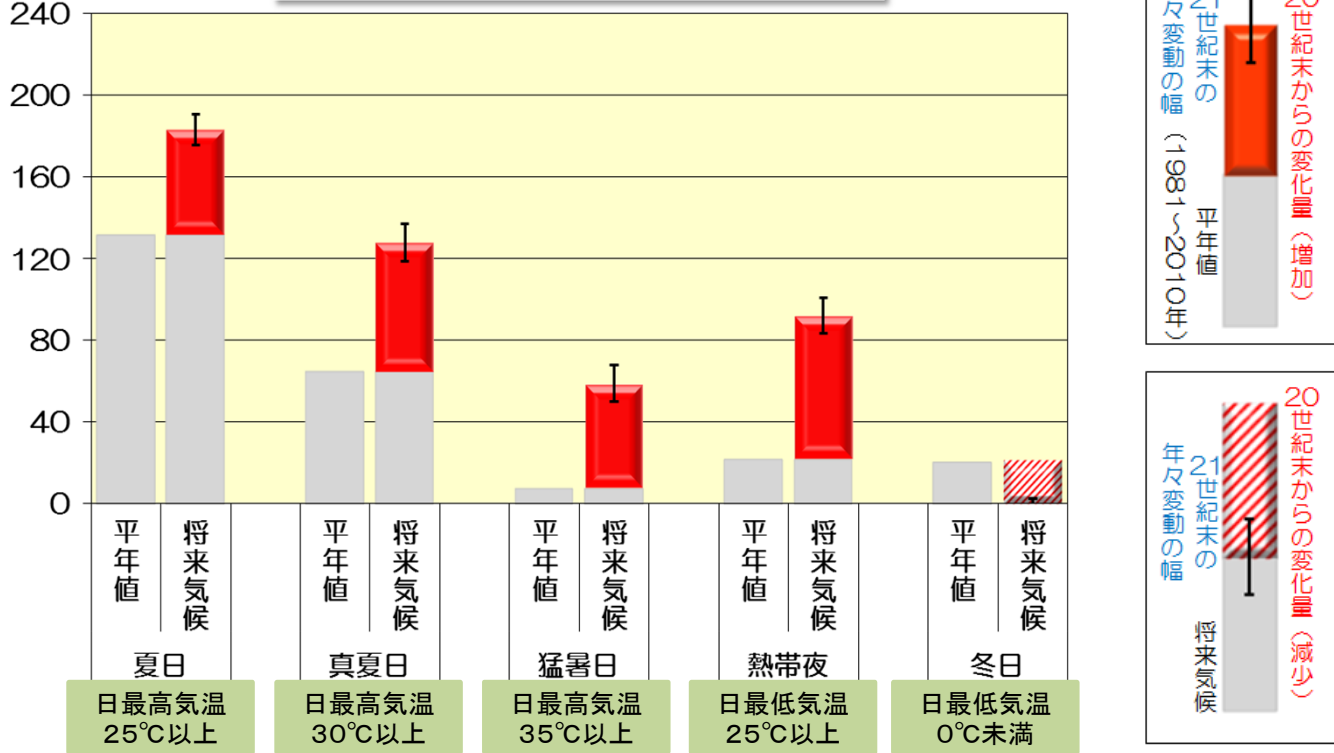


高松市の年平均気温は現在の種子島(鹿児島県)より高くなります。

現在の年平均気温の平年値 高松市:16.3℃ 種子島:19.6℃

▷高松市では猛暑日が100年で年間50日程度増加

21世紀末の年間階級別日数(高松市)



夏日は50日程度、真夏日・熱帯夜はいずれも60日以上増加します。

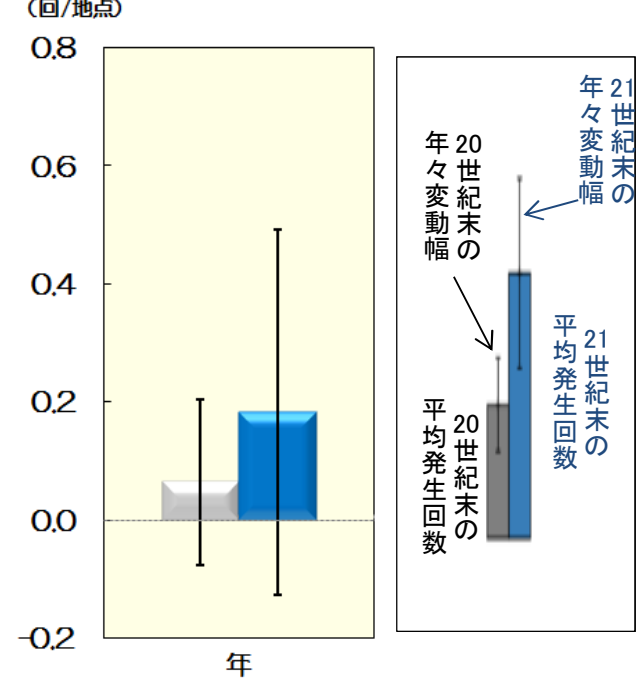
地球温暖化が最も進行する場合の

雨の予測

▷香川県では1時間降水量50mm以上の発生回数が100年で2倍以上に

1時間降水量50mm以上の年間発生回数の将来変化の分布図

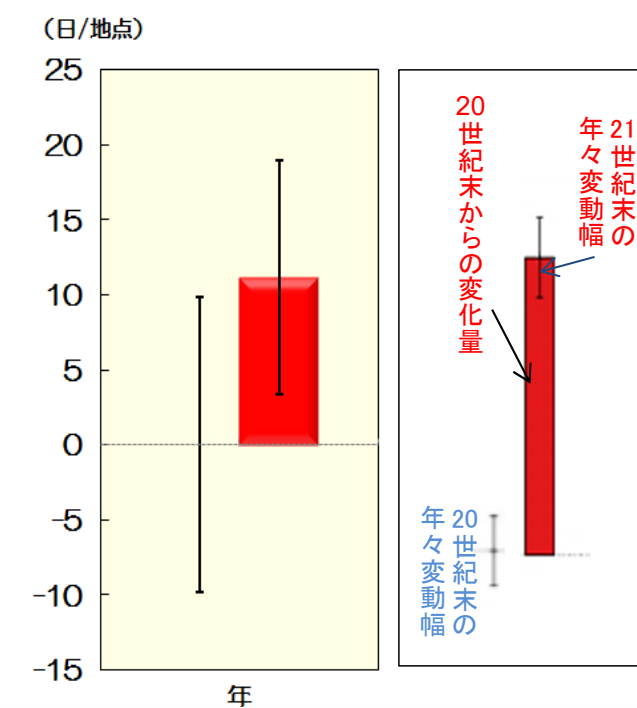
1時間降水量50mm以上の年間発生回数の変化(香川県)



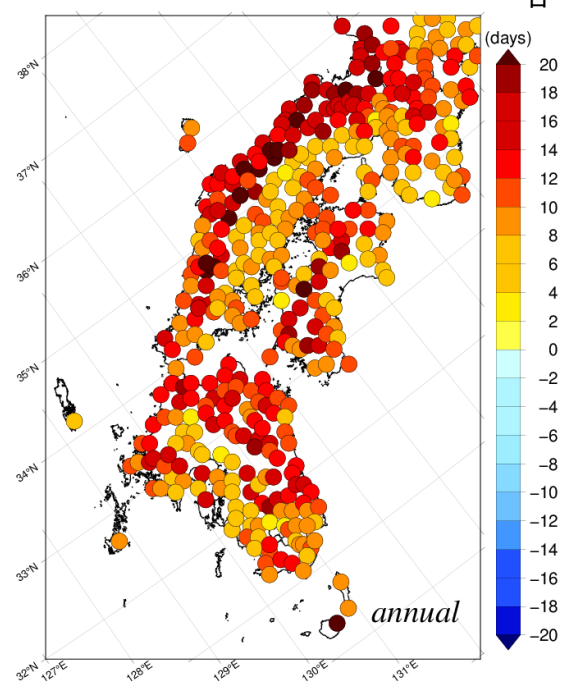
図は、年間の1時間降水量50mm以上の発生回数(上図)と無降水日数(下図)の将来変化(将来気候と現在気候の差)のアメダス地点ごとの予測です。ただし、増加・減少の傾向が不明瞭であった地点は記載していません。

▷香川県では無降水日数も増加

無降水日数の変化(香川県)



年間無降水日数の将来変化の分布図



<注意> 地点別分布図については、地点別の変化傾向に着目せず、府県の平均的な変化傾向を捉えるようにしてください。